

令和5年度 下音更小学校 グランドデザイン

小学校6年間のゴールの姿

「自立の基礎」を身につけた子どもの育成

基礎学力と進んで学ぶ態度 思いやる心と強い意志 生涯を生き抜く強い体

育てたい資質・能力

- 主体性：自力で根気強く取り組む態度 自分で考え判断する力
- コミカ：自分の言葉で相互に伝え合う力 深まりのある話し合い

当たり前のことを当たり前

- 学びの土台（学習の準備・チャイム着席・挨拶）
- 生活の土台（朝の挨拶・整理整頓（靴箱等））
- 正しい言葉遣い（返事・敬語等）
- 正しく聞く姿勢（話す人を見て最後まで聞く）

音更町の理念
「生きる力、
支える力を
育むまち」

十勝の重点
「十勝らしい
一人一人の
学びの実現」

本年度の重点目標

- 1 「教師が教える授業」から「子供が学びとる授業」への授業改革
 - ・「主体的・対話的で深い学びのある授業」「個別最適な学び・協働的な学びのある授業」「目的に応じた効果的なICTを活用した授業」の実践・検証・改善
 - ・校内研修を軸に、授業スタイルを「教える」から「学ぶ」へ転換
 - ・子どもが「学び方を学べる」学習者中心の授業づくり

- 2 「支持的教室風土」のある学級づくり
 - ・当たり前のことを当たり前でできる学級づくり
 - ・子供に寄り添い、褒め、認め、自己肯定感を高める
 - ・保護者と連携・協働し、情報の共有を図る

- 3 下音小アクションプランの推進
 - ・アクションプランを短期スパンで常に改善
 - ・一人一人が自分事として捉えて実践
 - ・全職員が「生き生き」となる学校づくり

本年度の実践課題

- 1 学習指導要領への対応
 - ・主体的、対話的で深い学びの実現
 - ・ICT等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- 2 教育課程の工夫・改善
 - ・地域と連携、協働した教育活動の充実
 - ・目指す子ども像の家庭、地域との共有
 - ・主体性、コミカを育てる教育課程編成

- 3 授業改革・学力向上の取組
 - ・日常の授業、学テ、CRTの短期スパンによる授業改革
 - ・主体的に表現する力、正確に聞き取る力の育成
 - ・加配等の有効的な活用

- 4 豊かな心と健やかな体の育成
 - ・「特別な教科 道徳」のさらなる充実
 - ・「いじめは絶対にダメ！」の徹底指導
 - ・体力の向上と体育の授業の工夫

- 5 信頼される学校づくり
 - ・「楽しい授業」の創造をビジョンとした共同研究
 - ・「支持的教室風土づくり」と家庭との連携
 - ・服務規律の遵守（交通規則、体罰、わいせつ）

- 6 特別支援教育の推進
 - ・「個別の指導・支援計画」に基づいた指導の充実
 - ・支援体制、保護者対応等の問題への対応
 - ・通常学級における要支援児童への支援の工夫

- 7 校種間連携の推進
 - ・小中連携協議会を通じた中学校との接続
 - ・幼保小での交流活動と情報連携
 - ・スタートカリキュラムの改善

- 8 家庭・地域との連携
 - ・おやじの会、ママズネット、ブックビーンズとの連携
 - ・「学校運営協議会」との積極的な連携
 - ・町内会との連携・交流